



飯野小学校運動会 龍踊り 平成28年9月25日

主な内容

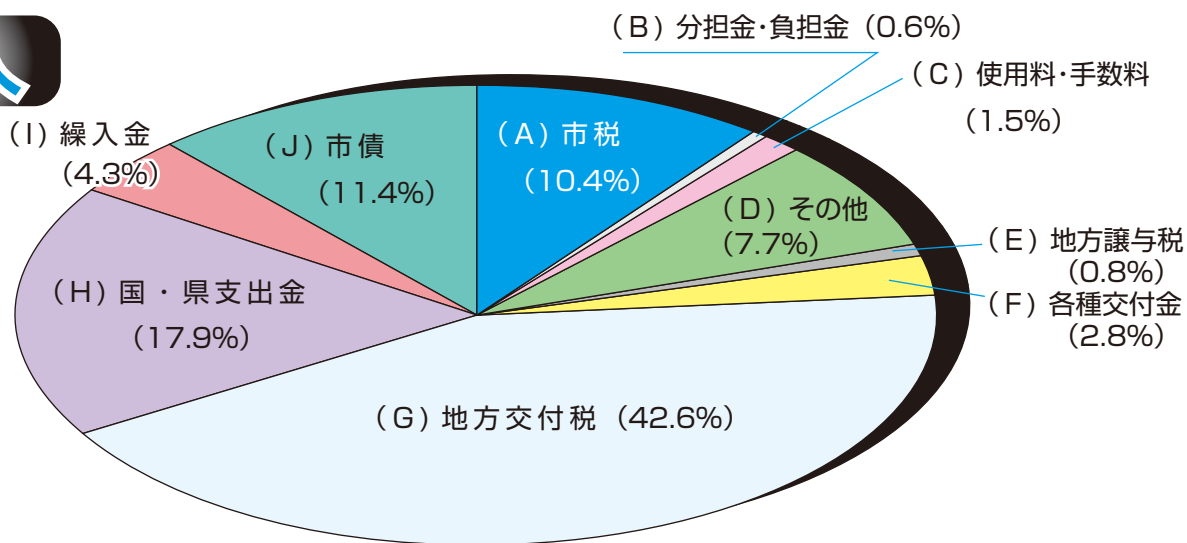
- 平成27年度一般会計歳入歳出決算の概要P2～P3
- 平成27年度特別会計歳入歳出決算の概要 P4
- 平成28年度一般会計・特別会計補正予算の概要 P5
- 一般質問に15人が登壇「市政を問う、.....P6～P13
- 委員会活動P14～P16
- その他P17～P20

9月定例会(9月7日開会～10月6日閉会)において9月21日、23日、26日の3日間決算審査特別委員会を開催し平成27年度一般会計決算について審議を行いました。

8,607円 (前年度比3.3%増)
3,817円 (前年度比3.5%増)
4,790円 (前年度比1.6%増)
8,790円 (前年度比7.7%増)



歳入



家庭の家計簿に例えると…こんな感じです

〈歳入〉

一般会計決算 (単位:千円)	
(A)市 税	3,566,729
(B)分担金・負担金	195,361
(C)使用料・手数料	520,637
(D)そ の 他	2,657,884
(E)地方譲与税	284,454
(F)各種交付金	954,462
(G)地方交付税	14,664,116
(H)国・県支出金	6,157,863
(I)繰 入 金	1,480,373
(J)市 債	3,940,600
合 計	34,422,479

〈収 入〉

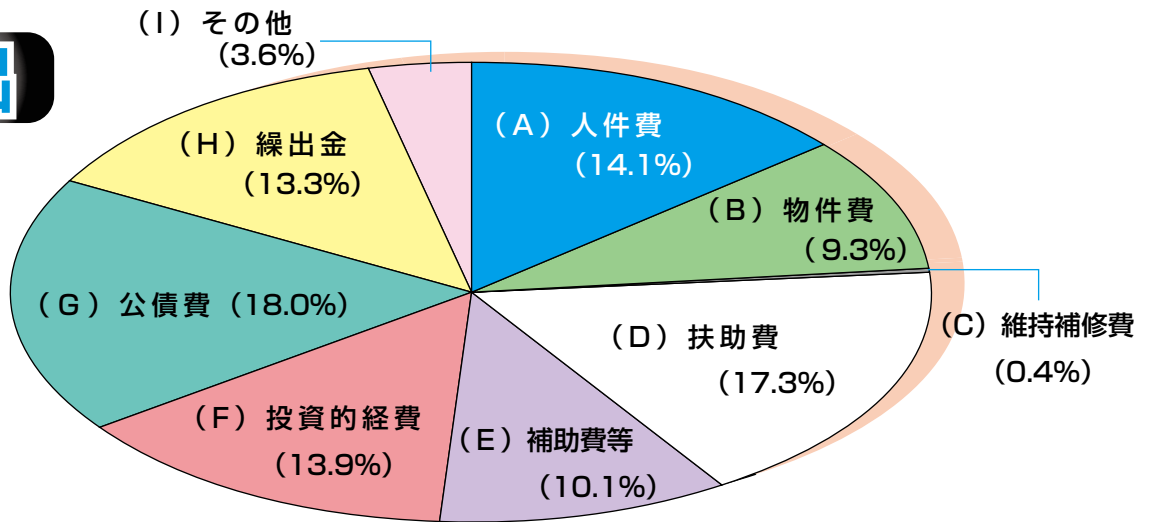
家 計 簿 (単位:円)	
基 本 給	357,000
各 種 手 当	337,000
親から等の収入	2,206,000
預金取り崩し	148,000
銀行からの借金	394,000
合 計	3,442,000

平成27年度

一般会計歳入歳出決算

歳入総額：344億2,247万
歳出総額：322億2,130万
歳入歳出差引額：22億117万
実質収支額：19億7,151万

歳出



南島原市の一般会計決算を、年収344万2千円の

〈歳出〉

一般会計決算 (単位：千円)	
(A) 人件費	4,546,960
(B) 物件費	3,002,327
(C) 維持補修費	128,663
(D) 扶助費	5,571,106
(E) 補助費等	3,243,020
(F) 投資的経費	4,489,911
(G) 公債費	5,787,030
(H) 繰出金	4,276,204
(I) その他	1,176,083
合計	32,221,304

基金名	金額(千円)
財政調整基金	4,387,992
減債基金	11,084,616
特定目的基金	6,883,871
合計	22,356,479

〈支出〉

家計簿 (単位：円)	
食費・被服費	454,000
光熱費	299,000
車等の修理費	13,000
医療費	557,000
学費・各種会費	325,000
家等の修繕費等	448,000
ローンの返済	580,000
子どもへの仕送り	425,000
その他	119,000
合計	3,220,000

区分	金額(千円)
市債現在高	25,287,758
債務負担行為	17,809

※人口一人当たりの市債現在高は51万8,479円 (H28.1.1現在)

平成27年度特別会計決算

認定

国民健康保険事業

区 分	27年度末	前年度比増減
国保世帯数	9,453世帯	△259世帯
加入世帯率	49.7%	△2.0%
退職者等加入者	577人	△85人
一般若人加入者	18,412人	△816人
国保人口合計	18,989人	△901人
国保加入率	39.3%	△1.1%
診療費用総額	71億8,342万5千円	△3,781万円
一人当り診療費	37万8,294円	1万5,235円

歳入総額
106億1,057万5千円

歳出総額
104億4,700万1千円

実質収支額
1億6,357万4千円



《概要》

一般被保険者・退職者等加入者の診療費用総額は前年度より減少したが、一人当たりの診療費は増加しており、偏った食生活や運動不足など好ましくない生活習慣の積み重ねで引き起こされる生活習慣病関連での受診が多く、今後も注意深く見る必要がある。

単年度収支では8年連続赤字となり、財政運営は大変厳しいものになっている。引き続き保険税収納対策、医療費適正化対策、特定健診事業等の充実・強化を図る必要がある。

簡易水道事業

歳入総額
23億783万5千円

歳出総額
22億7,470万9千円

実質収支額
53万2千円

前年度決算額に対し、歳入で2.6%の減、歳出では2.7%の減となった。

平成30年度の企業会計への移行に向け、経常経費の縮減を図るため簡易水道事業債の任意繰上償還を5億3,836万9千円実施した。

前年度に引き続き国庫補助による簡易水道統合整備事業を実施した。市内の多くの施設は老朽化が進んでおり、これからも順次施設の更新事業を実施し有収率の向上を図る必要がある。

下水道事業

歳入総額
7億6,161万円

歳出総額
7億4,295万円

実質収支額
2万6千円

加入率は、口之津処理区で1,362戸の約63%、南有馬処理区は361戸の約47%、西有家町慈恩寺・見岳地区農業集落排水事業整備地区は256戸のうち142戸の約56%となっている。

後期高齢者医療

歳入総額
6億2,895万8千円

歳出総額
6億2,804万8千円

実質収支額
91万円

被保険者数は27年度末9,756人で、前年度から66人増加している。保険料は3億9,236万7千円、収納率99.5%となっている。また、一人当たりの医療費は101万9,671円で、前年度より2.8%増加している。

南島原市
28年度

一般会計補正予算(第4号)

補正額 24 億 2,951 万 4 千円の増額

可決

今回の補正は、主に6月の豪雨による災害復旧に関する経費、防災行政無線戸別受信機設置に関する経費、地方債に係る元金の繰上償還などが提案され、審議の結果満場一致で可決されました。

農業
施設等災害
復旧に関する
経費

追加事業費
3億5,308万9千円



農業施設災害現場

公共
土木災害
復旧に関する
経費

追加事業費
5億986万3千円



公共土木災害現場 井龍川

防災
行政無線
整備事業

コミュニティ FM 方式
による戸別受信機の全
世帯設置に係る経費
3億9,594万4千円



防災ラジオ
(イメージ)

治山林道
整備事業

山地の災害復旧や林地
の保全に係る経費
4,500万円

公債費

市債の内、利率 1.4%
のものを繰上償還
9億9,312万円

南島原市
28年度

特別会計補正予算(第1号)

国民健康
保険事業

補正額 354万8千円の増額

可決

国民健康保険事業が平成 30 年度から県域化するのに
伴うシステム改修に係る経費等

新規導入施策事業は 検証・検討が 必要と考えるが

市長／指摘を踏まえ十分
検討する



下田 利春 議員

一般競争入札につ いて

下田議員 一般競争入札を
導入してやがて2年にな
ろうとしているが、利点
弱点も見えてきたのでは
ないか。意見等の情報を
収集し検証・検討は実施
したのか。

松本市長 入札制度の説
明会を実施するなど、意
見交換の場を設けている。
下田議員 一般競争入札
と指名競争入札の利点は。
副市長 一般競争入札
は参加資格のある業者は
誰でも参加できる。指名



大雨による土砂崩れ

競争入札は、地域性を持
たせた入札ができる。

下田議員 災害のときに
即、対応できるのは地域
の業者であるが、6月の
大雨災害時の対応は。

建設部長 土砂除去等に
建設部が依頼した件数は
148件である。

下田議員 新規導入の制
度であり、制度のあり方
一般競争の金額、指名と
のかみ合い、業者育成等
総合的に勘案し検証・検
討すべきでは。

松本市長 どういう取り
組みが良いか、議員の指
摘は十分検討する。

ごみ焼却施設について

下田議員 ごみ処理施設

は、修繕費、延命措置に
も限度がある。最低でも
基本構想・基本計画、つ
まり、建設場所、処理方法
処理能力を検討し、住民
説明までの必要性を幾度
も質問したが、対策が目
に見えないが。

松本市長 和解協議もあ
り、比較・検討ができな
かったが、市民の利便性
等を検討し整備計画を進
める。

し尿処理について

下田議員 人口減少問題
や維持管理を考えた場合、
下水道より浄化槽の普及
が良いと考えるが、設置
条件は、排水路がないと
設置許可をしていないの
ではないのか、自分の土
地に自然浸透させること
ができると思うが。

水道部長 規定によると
そのような方法もあると
認識している。

下田議員 自然浸透方式
も周知して、合併浄化槽
を推進すべきである。



駐車場の確保は どのくらいを目処に 進めるのか

副市長／できるものは
本年度中に実施したい



小林 知誠 議員

深江庁舎の駐車場 確保について

小林議員 駐車場の確保
について伺いたい。

副市長 深江庁舎の敷
地内を整理すれば40台分
確保できる。次に、旧深
江町のし尿処理場に30台
確保できる。処理場を新
たに整備しなせば11
2台確保できる試算であ
る。

小林議員 現在256台
分のうち、NTM会社に
131台分貸している。
深江ふるさと伝承館で催
し物を開催すると、30



南島原市深江衛生センター

0台分の確保が必要と考
える。深江町時代は近く
の農地を借りて駐車場に
していた。農地を借りて
駐車場を造る事も考えて
はどうか。

副市長 本場に必要と
いうことであれば立体駐
車場も考える。地域の要
望も精査して対応したい。

小林議員 伝承館には6
00名が入る。その半数
が車の数と考えると良い。
どのくらいを目処に進め
るのか。

副市長 深江庁舎敷地
内の駐車場増設は早急に
対応したい。し尿処理場
についても早急に対応し

たい。できるものは、年
度内に実施したい。



市長の政治姿勢に ついて

小林議員 地方自治法に
よれば、国と地方自治体
には上下関係はなく、同
等な立場であると考え
るが。

松本市長 おっしゃるよ
うな考え方だと思ってい
る。

小林議員 翁長知事や沖
縄県民は、県民の財産・
暮らし・命を国の横暴か
ら擁護するために、地方
自治法の本旨に基づいて
奮闘している。この翁長
知事や沖縄県民の運動に、
本土の我々も連帯すべき
ではないか。

松本市長 国と沖縄県で
十分な話し合いをしてい
ただきたい。

その他の質問
・学校統廃合
・給食センター建設につ
いて

島鉄跡地の進捗状況は

市長／島鉄も専任職員を配置し、基礎調査等の作業を開始した



金子憲太郎 議員

防災について

金子議員 災害時要支援

の調査を行っているとのことだが、市内全域の台帳は出来上がっているのか。また、出来上がってれば自治会に知らせるべきではないのか。

松本市長 災害時に援護

を必要とする一人暮らしの高齢者や、障害者などの情報を登録した災害時要援護者台帳を整備してきたが、災害対策基本法の一部改正に伴い、整備を行ってきた名簿を見直

す必要が生じたため、現在システムの改修を進めている。

また、この避難行動要支援者名簿を災害時に備え提供する場合は、本人の同意を得るよう定められており、来年度からその作業に着手し、一定数の同意が得られた段階で、自主防災組織（自治会）、民生委員などの関係者に提供していくことを考えている。



熊本地震被災地

金子議員 廃校を利用し

て専用の避難所を設置してはどうか。

松本市長 廃校舎を常設

の避難所とするためには、水道・電気などのライフ

ラインを維持しておく必要があることと、防犯上や管理上の問題も考えられ、現実的には難しいと考えている。

金子議員 確かに、その

問題があるが、それは、自治会に鍵を預かってもらって、避難準備を出した時に水道が出るかどうかなどのチェックをしてもらえば良いと思う。また、毛布などの備蓄品もここに分散しておけば、自主避難の人たちも寝具を持参しなくても良くなるのではないかと。

松本市長 現状は難しい

と捉えているが、検討の余地はあると思っている。今年は大雪、大地震、大雨と、避難所に避難してもらおうような災害が多発した事を考えると、自主防災組織を活用しながら、もっと狭い範囲での避難所体制を構築していかなければ、皆さんのニーズにそぐわないという思いもあり、担当部署にはそこも含めて考えていくよう指示している。

市長の思いは 県に届いたのか

市長／特段の回答はなかった



林田久富 議員

一般国道251号の渋滞緩和策

- ① 有家白崎交差点から西有家町須川交差点
- ② 深江町がまたすロード交差点から県道雲仙深江線交差点
- ③ 有家・西有家バイパス

林田議員 市長は長崎県

や県議会への要望・提案活動で、市もある程度の負担をしてもという考えのもと、望まれたと思うがどうだったのか。

松本市長 県の回答とし

ては、①②昨年度から信号の連動化を図った。今年度はバス停の停車帯の整備を進めるため用地取

得に着手する予定。③島原道路など、半島の道路網整備の進捗を見ながら長期的な課題と考えている。

林田議員 一般国道251号の安全・安心対策

(権田・赤間)はどうだったのか。松本市長 県からは、交通規制で不便をかけており、安全・安心対策を進めていかなければならないという回答であった。工事等を行う為には地権者の理解・協力が必要不可欠である。

林田議員 完成はいつ

なのか。今何パーセント出ているのか。通行止めは何時ぐらいからしなくて済むのか。

建設部長 県に確認をし

た。ロックシェッドと言うのは完璧に安全と言うわけではない。その上の法面はそのままなので危険性はある。そう言う事で全体の最終年度とかその辺は言えない。

道路行政・農林水産

林田議員 加津佐く小浜

間の雲仙グリーンロード上にある、花房展望台に

トイレの設置が出来ないものか。

松本市長 私も区間内に

せめて一カ所必要ではないかと思っている。提案の花房展望所への設置については、水源の確保や駐車場用地の造成など、課題はあるものの眺望もよく、立ち寄られる方も多いということで、適地と捉え、検討を進めていきたい。※市政懇談会に関する質問については紙面の都合上割愛します。



花房展望所から見た加津佐町



花房展望所

不燃物を ゴミステーションで 処理できるように

市長／29年度実施予定



井上末喜 議員

下水道事業について

井上議員 □之津町と南有馬町の進捗状況はどれくらいか。

松本市長 □之津処理区は整備率が90・9%、南有馬処理区は97・3%という状況である。

井上議員 工事が終了した後、舗装をしている所が剥がれたり砕けたりしているが、補修はどのようになっているのか。

松本市長 すぐ舗装を行うと転圧が不十分になり、沈下する場合があるので、一旦仮舗装で時間を置いて

て本舗装を行っている。□之津処理区の野向地区は、本舗装工事を7月に発注している。

不燃物処理について

井上議員 □之津地区は8町の中でも高齢化が進んでいる。可燃物はゴミステーションで処理できるが、不燃物は置き場が遠くその処理に苦慮しておられる。そこで、ゴミステーションの横に置くことができないものか。

松本市長 来年度の実施に向け現在、加津佐町から有家町まで、6地区の不燃物ゴミステーション回収計画(案)を作成している。計画案がまとまったら関係事業者との意見交換を行い、細部を点検整理し、ステーションでの回収の実施にあたり、自治会長への説明会を開



ゴミステーション

催し、市民の皆さんへの周知を図っていく。

井上議員 可燃物、不燃物の業務委託は完了したのか。

松本市長 毎年度の業務委託は途切れることなく契約を行っていて、委託期限は可燃物が3年、不燃物が1年を原則としている。

市政一般について

井上議員 □之津消防署は何年完成の予定か。

松本市長 建設時期については、平成31年度の建設を目標として計画されている。

井上議員 消防詰所も古く、建て替えの時期ではないかと思っているが。

松本市長 現在市内には50カ所の消防詰所があり、古いものでは昭和45年建設のものもある。老朽化の進んだ詰所では、施設の故障や不具合など指摘されている所もあり、消防団活動の拠点として十分な機能を確保するため、施設の状況によって建て替えも検討する必要があると考えている。

サッカー協会より 芝生グラウンド整備の 要望書が出されたがどうか

市長／候補地、費用概算等の調査を指示している



吉田幸一郎 議員

吉田議員 芝生のグラウンドでは、サッカーだけではなく色々なスポーツや用途で活用されている。

本市には、正規の芝生のサッカーグラウンドがない。そこで日本サッカー協会やtoto補助金を活用して整備してはどうか。

松本市長 市独自の予算で、なかなか多額の事業を行うのは大変である。しかしながらこういう助成制度があるということは大変前向きに考えられるという思いだ。

教育長 市長からサッ

カーグラウンドの整備については、指示を受けて、現在専門家に費用や日程をどうするか、ということについて質問状を出し、整理している。

吉田議員 他団体の有効な補助金を活用し、公共工事として地元還元することも考えるべきである。是非お願いしたい。

深江庁舎改修事業について、6月議会以降どのような協議をされたか。

松本市長 自治会長、住民説明会を開催し、特に駐車場の不足を懸念する意見をいただいたことから、敷地内や周辺の市有地の駐車スペースの確保について検討しながら、日本トータルテレマーカー

ティング(以後、NTM)と協議を行なっている。

吉田議員 去年9月にNTMより要望書が出されている。相手方も企業であり、これからの方針もあると思うが、本市としての対応の期限は、どう考えているのか。

副市長 現時点ではまだ期限を切っていないが、相手があることであり、出来れば年度内に一定の方角づけはしたいと思っている。

吉田議員 皆が、満足するような事は出来なくても、納得して貰うようなやり方で進めていただきたい。

助成区分	対象事業	助成率	助成金額上限
地区施設	天然芝	75%	1,500万円
	人工芝	50%	4,500万円
	夜間照明		1,500万円
	クラブハウス		1,500万円
施設改修	人工芝		3,000万円



助成対象事業	助成率	助成金額上限
クラブハウス整備事業	新設	80% 6,000万円
	改修	75% 1,125万円
グラウンド芝生化事業	新設	80% 4,800万円
	改修	75% 3,000万円
スポーツ施設等整備事業	約66%	2,000万円
		1億円

特例債の期限が迫る中、建設部等には経験・知識を持つ職員を充てるべきでは

市長／事業完遂のため体制作りは必要



柴田 恭成 議員

移住・定住対策について

柴田議員 廃校跡地に宅地を造成し分譲すれば、定住促進と人口増にも繋がり、地域活性化になると思うが。

松本市長 土地の有効利活用を図るためにも検討したい。

柴田議員 その財源に地方創生交付金が活用出来ないのか。

企画振興部長

今年度の第二次補正予算に、地方創生拠点整備交付金が盛り込まれ、地方創生への波及効果が期待できるハード事業も交付対象とな

り、これが活用できる可能性がある。

柴田議員 廃校になった学校施設等の半数は借地である。利活用するために、その借地の契約見直しが必要だと思うが。

副市長 議員ご指摘のような対応をせざるを得ないと考えている。

6月の豪雨による被害状況と対策について

柴田議員 市からの被害者に対する見舞金は、どのように行ったのか。

松本市長 支給要綱に基づいて出した。今後この要綱の見直しも考えていかなければいけない。

柴田議員 今回の災害では、河床の低い浦口橋に竹等が詰まり、大量の雨水が商店街の方に流れ込む被害が発生した。ここは高さ、幅ともに狭く、救急車や消防車両も入れない。今後同様の被害が起らないためにも、早急に拡幅すべきだと思うが。

松本市長 前向きに対処していかなければならないと思っっている。

柴田議員 豪雨で問題となった有馬川は、県の管

理であるから、県と協議して、可動堰の改修はできないのか。

農林水産部長 県に相談したところ、農地被害の実態がないため、事業の適用が難しいとのことだった。必要に応じて水利組合とも協議しながら、様々な方向性で検討していきたいと思っっている。

職員の異動配置について

柴田議員 合併特例債の活用期限が迫る中、災害も発生した。今後においては、建設部・農林水産部には経験・知識を持った職員を異動・配置すべきだと思っっている。

副市長 議員からは、合併特例債に絡めて、前から建設部の体制について疑問をお持ちだと指摘を受けている。若干ではあるが、外部の委託業者等をお願いし、職員の配置などをやっている。出来ることからやっていきたい。

※その他の質問

・地籍調査・換地処分
・大型施設建設に伴う財源等を含めた取り組み状況について

用地の了解が出来ているところから事業に着手すべきでは

市長／同感である



田中 次廣 議員

道路改良事(線越事業関係)の進捗状況について

田中議員 道路改良工事の進捗状況は。

松本市長 昨年度の線越事業は23事業で、8月末迄に9事業が完成、残りも年度末までに完成見込みである。線越の理由は、用地補償の難航や、地元の調整に時間を要したことなどである。

田中議員 線越の理由に付いてもう少し詳しい説明を。また、事業に着手するとき何を優先順位の基準にするのか。

建設部長 線越の理由は、地元からの要望路線を工事する際、要望書に関係者の印鑑をいただいても、事業に入ると、こちらにおられない方の相続が発生し、用地の同意が得られない、想定以上に土地が潰れるため同意を得られない、地元の迂回路の関係等で調整に時間を要した、などが主な理由。

優先順位の基準は関係戸数、投資効果、緊急車両が通るか、交通事故の削減の可否、用地の了解が得られているか等、総合的に判断して優先順位をつけている。

田中議員 用地の問題が事業が進まない主な原因だと思っ。本年3月の農林水産・建設委員会でも道路改良の要望があった時、きちんと用地の了解を取らないと、工事が遅れてくるとの質疑もあっている。今後事業が出来ただけ年度内に完成するには、用地の了解が出来ている所から事業に着手すべきと思っが市長の考

えは。

松本市長 同感である。地元で用地のことがしっかりまとめあげられてから先に進むわけであるから、道路の要望がある時は、真っ先に用地の件を申し上げている。

田中議員 そのような方向で是非進めて頂きたい。そうすることが、線越事業が少なくなる要因になると思っ。

統合により廃校となった跡地の利活用について

田中議員 どのような検討がなされているのか。

松本市長 平成25年度末までに廃校になった施設、学校について、26年度中に利活用の報告がまとめられ、実際の利活用に向けた取り組みを始めていく。

平成26年度、27年度に廃校になった学校施設については、地元の意向などを聞いて、必要な資料の取りまとめが終了したので、検討委員会を開催する。

子どもの貧困問題に対する認識は

市長 / 貧困対策は重要である



桑原 幸治 議員

子どもの貧困対策について

桑原議員 子供の貧困問題に対する認識は。

松本市長 子供の貧困対策は重要である。法律や国の大綱に基づいて、今年3月に長崎県子ども貧困対策推進方針が策定された。

8月には協議会が開催され、県と市や町が連携して、情報交換、あるいは施策の推進についてのことになった。

桑原議員 本市の子供の貧困対策は。

松本市長 教育支援、生活支援、就労支援、経済的支援など、既存の制度を活用した支援を行っている。

桑原議員 実態調査をして、子供の貧困対策計画を策定すべきでは。

松本市長 実態を十分把握するための調査を進めていきたい。

桑原議員 就学援助については、積極的な対策が必要。

教育長 入学時の（学用品費）支給時期を3月中にしたい。利用率が向上するように研究する。

桑原議員 南島原市のひとり親461世帯の内54%、249世帯が月平均8万円程度の所得である。生活保護や、就学援助の利用など勤めているのか。

福祉保健部長 申し出があれば生活保護等への支援につないでいる。

桑原議員 川棚町は第三子の学校給食費を無料にした。

松本市長 まだ今は考えていないが、思いはある。

社会保障制度について

桑原議員 来年から介護の要支援1と2は、ヘルパーやデイサービスなどの利用料が自己負担になる。従来のサービスを維持できるのか。

松本市長 今までと同様のサービスを受けられるよう協議が進められている。

桑原議員 介護、医療、年金などの相次ぐ改悪は、国民の老後の不安を増大させている。調査して、援助できるものがないか検討すべきでは。

松本市長 市民の皆さんが、安心して老後を暮らせるというのは大事なことだ。どういう援助ができるか、十分関心を持っていかなくてはならない。

所得（万円）	受給対象者数
100未満	249人
100～150未	106人
150～200未	47人
200～	59人
合計	461人

戸別受信機の全世帯設置は

市長 / 今年度末までの整備を目指す



中村 久幸 議員

防災行政無線戸別受信機について

中村議員 市民皆様も待ち望んでおられる、戸別受信機の事業者決定を素直に評価し、喜びたい。

比較検討された事業者とその内容「FMしまばら」に決定の決め手は。

松本市長 「FMしまばら」と「エフエム長崎」の2社で検討し、決め手については、免許の取得状況、情報配信の自由度、導入経費、その後の維持経費などを総合的に勘案して決定をした。

中村議員 当初の予定よりかなり遅れたが、早速、今定例会の補正予算に計上されたので、来年度からの供用開始が実現できそうか。

松本市長 今年度末までに整備することを目指して努力していく。

中村議員 この「防災ラジオ」は各世帯以外にも公共施設、それと企業・工場などへの設置を考慮えられるか。

松本市長 基本的に公共性のある施設には設置をする方向である。ただ、企業・工場へはまだ検討の余地ありと考えている。

中村議員 一般世帯でも離れた別棟で若夫婦など家族が住んでいる場合や、



防災ラジオ（イメージ）

企業・工場等も含めて、希望があれば有料でも配布が可能か。

松本市長 有償でお分けできるような方法を検討してみたいと考えている。



公共施設の管理について

中村議員 市の財産である公共施設は市民の財産でもある。大事に管理するためには責任を持って管理する人、専門の課を置くべきではないか。

教育次長 ご指摘のような管理が不十分な施設があることについては、大変申し訳なく思っている。各施設については各所管が責任を持って管理するのが第一義的であり、今後は、各所管課が責任を持って管理するよう徹底をさせたい。

その他の質問
豪雨災害の被害について

6月の大雨災害に関し 県が管理する2級河川 の整備対応は

市長／県へ河川の氾濫浸水の解消と軽減を図るため特段の整備を要望



黒岩 英雄 議員

9月の豪雨災害について

黒岩議員 今回の大雨は

島原地方では、観測史上最大といわれ、長崎気象台は記録的短期間大雨情報を発表した。防災のあり方や被害の収集、被害の対応などについてお聞きしたい。

松本市長 本市でも河川

の氾濫や土砂災害など被害が多数発生した。災害対策本部の設置や避難所の設置、道路の通行止め、施設の点検などに対応し、現在も一日も早い復旧に向け懸命に取り組んでい

るところである。

副市長

被害の状況としては、農林漁業関係で586件、国や県の災害復旧事業に該当する農地災害、90件、農業施設災害54件、林務災害、10件となっている。なお今回の豪雨は過去に例を見ないほどの雨量であったことを踏まえ、市の単独予算で措置している、農薬用施設原材料等支給の弾力的運用により、重機、コンボ等の借り上げ代やオペレーター代も支給できるようにした。

また、道路などの土木関係の被害報告書は、558件で、そのうち公共施設災害、77件と市単独災害30件、計107件については災害検査が終わりたいと考えている。

黒岩議員

今回の大雨は

記録的大雨で、特に有馬川、龍石川、有家川、大手川等、県が管理している2級河川の氾濫による被害が多かったと思う。被害を受けた農地を含めた対策を県に対し、強く要望してほしい。また、

有馬川や浦口川での氾濫によって、北有馬支所や

その周辺の民家も浸水した。原因の追究と対策をお願いしたい。

松本市長

浦口川が、堆積物でせき止められて住宅の浸水被害があったので、改めて河川の管理の重要性について認識したところである。ただ、2

級河川の管理については、県の管理となっているので、河川災害防止のため、河川内の堆積土砂の排出、また、川竹などの除去及び護岸の整備について、特段の措置を講じていただくよう、県へ独自要望し、地域住民の浸水被害の解消と軽減を図るため、特段の整備を重ねてお願いした。



豪雨による土砂崩れ（坂下公民館付近）

有家駅下国道 交差点の進捗 状況

市長／近日中に現場立会いの予定



草柳 寛 衛 議員

世界遺産登録について

草柳議員 6月の豪雨に

よる影響はないのか。また、ユネスコが財政難で、審査も一段と厳しくなると指摘したとの報道に対しての考えは。

教育長

原城跡の被害

は7カ所の土砂崩落が発生しているが、小規模で影響はない。

また、新聞報道では、年1回の審査で扱う対象件数を、45件から25件に減らす検討に入ったとのこと。適用されると、資産の審査が遅れ、登録へい

すが落ちる恐れがあると考えている。

草柳議員

本市の原城跡

は大丈夫なのか。

教育長

登録が速やかに成るように願うばかりである。

草柳議員

今回、タイト

ルが「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」になった、というのほどのような経緯か。

松本市長

教会だけが主

眼であるかのような印象を受ける教会群ではなく、禁教区の集落に視点を当てたものに価値がある、というイコモスの指導があり、県の会議の中で了承されてこの名称になった。

市役所統合について

草柳議員

有家庁舎の耐

震等の工事をするとのことだが、建設部、水道部を有家庁舎に持つてくる計画はやるべきでは。

松本市長

仕事を

する職員や、市民の皆さん方の安全安心のため、早急に耐震改修工事を行うように進めているので、庁舎の再編整備については、今後時間をかけて十分検討していきたい。

今の段階で改築、新築というのはあり得ない。

道路改良整備について

草柳議員

国道251号、

新田橋より深江線歩道整備の進捗状況は。

建設部長

現在、布津町

の新田橋付近の約200mの工事を行っている。

海側の開水路を蓋付きの側溝に変え、車道の拡幅と人が歩けるスペースを整備している。

草柳議員

深江までの歩

道の完成はいつ頃か。

建設部長

島原振興局の

考えは、32年度の完成を目指している。

防災への市民の自覚を促す方策を

市長 / 真剣に検討を指示している



隈部和久 議員

隈部議員 前回、防災関連で質問をした、市内各避難所の鍵を、その地区の自治会長や、市職員等の責任ある立場の者に預けておき、台風、豪雨、地震等に関して、その地域の状況に応じて、各々の判断で避難所を開所できるようにすべき、との問いに対する市長の現在の考えは。

松本市長 私も4月の熊本地震、6月の豪雨災害を体験し、行政だけでは対応には限界があり、自助及び、地域の支え合いという、共助の必要性を

強く感じた。本市では、災害の種類や規模、発生場所に対応するために、101カ所に指定避難所を設けているが、今後その運営体制について見直しを行い、一部の避難所については、地域の代表者や、自主防災組織が開設できないか、検討を進めたい。

隈部議員 よく自助、共助、公助と耳にするが、現実的に公助、つまり行政に任せきりの部分が突出している。住民一人ひとりが自然災害に対し、自ら考え、自ら動き、命を守る、という意識と自覚を持つための一策として、是非とも早急に、本市独自の施策として防災計画の中に明示すべきである。

松本市長 まさに私も同様の思いである。市内101カ所の避難所以外にも、自治会公民館等、避難所として適した所であれば、その地域々々の判断や合意に基づいて、対処行動が可能となるよう、行政の立場からの手だてを考えていきたい。



豪雨時北有馬ピロティ文化センター日野江

隈部議員 自然災害に対しては、首長をはじめ行政は、臆病ともとられるぐらいの対応が必要であると思う。また市民の皆様には、自然の猛威という危険から身をかわす手段は、唯一「避難」しかないという意識と、それにもなう行動を早めにとる事を、各々が強く本気で認識してほしい。

※その他の質問
・小・中学校の普通教室へのエアコン設置について。
・地域おこし協力隊の本市隊員の活動状況について。

市長と市民との市政懇談会の参加者数を

市長 / 延べ人数 119名
内訳は深江・布津：14名
有家・西有家：59名
北有馬・南有馬：30名
口之津・加津佐：16名



高木和恵 議員

松本市長の政治姿勢

◎松本市長の決断
・納税組合は廃止しない
・自治会の補助金を検討
◎高木の決断は良心と知識を持って検証する。

高木議員 前回の答弁は、「①堂山自治会の世帯数と納税組合の戸数は19と16。②堂山団地自治会も同じように27と28。③堂山自治会の平等割は6万円。納税率を公表していないので補助金は公表できない。」と説明した。堂山自治会の平等割は(別表)では、3万2千円

で6万円では無いことが明白。

(堂山と堂山団地)自治会の数を合算すると平等割も納税組合の基本額も6万円。納税率が100%とすると、納税成績は12万円。補助金は18万円。堂山自治会の補助金の支給額を議会には「公表しない」と答弁。監査はしているのか。このようなやり方は妥当か。

代表監査委員 計算式は間違っていない。計算通り正解を確認している。

高木議員 意味不明。監査委員は失格。

先日「情報公開」の申請をした。決裁はどごまか。

市民生活部長 「情報公開」の「開示請求」は部長決裁である。(※)

高木議員 市長の決裁は必要なかったのですね。自治会の納税率は個人情報なのか。

松本市長 端的にここで私が表現することがちょっと私自身難しいんですけど、今、そういう措置をしたことは、いろいろな考え方に基づいたことで

対応してきているだろうと思っっている。

高木議員 市長名の「公文書」に「不開示」と書いてある。私は期日までに審査請求を申請する。自治会活動補助金は自治会の活動に用いる補助金でしょう。

松本市長 当然そうですね。

高木議員 補助金の性質上、当然監査の対象にある。

◎自治会の活動計画に基づく補助金の額を納税の成績等で支給するやり方は適切ではない。

①平等割額		②成績割額	
自治会世帯数	平等割額	納税組合戸数	基準額
9世帯以下	23,000円	9戸以下	23,000円
10～19世帯	32,000円	10～19戸	32,000円
20～29世帯	42,000円	20～29戸	42,000円
30～39世帯	50,000円	30～39戸	50,000円
40～49世帯	60,000円	40～49戸	60,000円
...
150～179世帯	170,000円	150～179戸	170,000円
180世帯以上	200,000円	180戸以上	200,000円

○納税率100% 基準額の2倍
○①と②を合わせた額を限度として活動に対する補助を行います。

※後日、「今回の情報開示請求については市長決裁でありました。」との訂正あり。

津波見地区に合併浄化槽が設置できない理由は

水道部長／
今はまだ津波見川から
水を取水しているため



小嶋 光明 議員

小嶋議員 合併浄化槽の設置が出来ない地区の対応をどのように考えているのか。

水道部長 山手の未普及地域には、昨年から水が行くようになった。津波見川から取水した水は、津波見地区にやるのではなくて、加津佐の町部の方に送っている。今はまだ津波見川から取水しているのので、合併浄化槽は出来ない。加津佐の第4配水池は完成したが、管のつなぎはまだ出来ていない。本年度中には加津

佐の方に水を全て持っていくように予定している。それが完成したら津波見川から取水しなくてもいいので、合併浄化槽の設置が可能になる。

小嶋議員 合併浄化槽が出来ないのは、夏場の水が足りない時、津波見川から取水しなければならぬ可能性があるから、合併浄化槽は出来ないと言っているのではないか。

水道部長 現在も常時、津波見川からは600〜800トン程度は取水している。

小嶋議員 当初の計画では加津佐地区の上水に対しては、南有馬の衛生センターのボーリングで足りるといった話だったが、

水道部長 計画では、南有馬からの分で大体足りるような計算である。しかし、有家から加津佐まで全部つないで、万が一の場合でも対応できるようにするためである。

小嶋議員 去年、遅くとも8月くらいには完成すると言われたので、津波

見の方は、家を建てるのを待っておられた。そして支所に行って聞いたら、まだ津波見川から取水しているのので「できません」と言われた。津波見川は重要な水の資源だったため、津波見地区の人は、今まで合併浄化槽を設置するのを我慢している。もう少し早く対応をして欲しい。

小嶋議員 合併浄化槽の4〜5人の家庭で、年間幾らぐらい、清掃や点検等で維持管理費がかかるのか。

水道部長 合併浄化槽7人槽で5万5〜6千円程度、下水道事業で、平均2万7〜8千円程度かかる。



水道タンク

島原半島市議会議員合同研修会

平成28年8月5日(金)、ザ・マーズにおいて、第5回島原半島市議会議員合同研修会が開催されました。研修会では講師の長崎県企画振興部市町村課財政係長から「地方交付税の現状」という演題で講演がありました。

講演では「全国の地方交付税の状況など」や「島原半島3市の地方交付税の状況(合併市町への新たな財政支援措置を中心に)」について説明がありました。

講演の後は三市議会の概要について南島原市議会事務局より説明がありました。

研修会終了後には意見交換会も行われ、半島内の市議会議員同士の交流が図られました。



島原半島市議会議員合同研修会

長崎県市議会議長会・議員研修会

平成28年8月18日(木)〜19日(金)、平戸市において長崎県市議会議長会・議員研修会が開催されました。

初日18日はホテル彩陽WAKINGAWAを会場に議長会がありました。議長会では、各市提出議題について協議し、「西九州地域の交通網の整備促進について」、「離島海上高速交通体系の維持、航路・航空路運賃低廉化施策について」が九州市議会議長会へ提出する議案として選ばれました。

翌19日は平戸文化センターにて議員研修会が開催されました。

研修会は市議会議長会会長挨拶、開催市議長挨拶から始まり、「住民自治のための議会改革」その条件とは？」を演題に山梨学院大学江藤教授の講演がありました。



長崎県市議会議員研修会

委員会活動

総務委員長報告

文教厚生委員長報告

農林水産・建設委員長報告

このような協議をしました

総務委員長報告

(田中次廣委員長)

承認1件を承認、議案5件を原案可決
請願1件を継続審査

【承認第6号】専決処分の承認を求めることについて(平成28年度南島原市一般会計補正予算(第3号))

【議案第63号】南島原市プロポーザル審査委員会条例の制定について

【議案第64号】南島原市議会議員及び南島原市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

【議案第71号】平成28年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

【企画振興課関係】
【総務課関係】

【総務課関係】

【総務課関係】

【議案第65号】南島原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

【議案第66号】南島原市プロポーザル審査委員会委員の月額報酬、英語指導助手の月額報酬額を定める。

【議案第67号】英語指導助手の何名採用か、月額20万円の根拠は。

【議案第68号】3名採用する。勤務時間、勤務日数等を勘案して決定した。

【議案第69号】6月の豪雨災害に伴う災害復旧工事、農業施設整備補助金、行政無線戸別受信機設置、繰上償還に関するそれぞれ

【議案第70号】6月の豪雨災害に伴う災害復旧工事、農業施設整備補助金、行政無線戸別受信機設置、繰上償還に関するそれぞれ

【議案第71号】平成28年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

【議案第72号】熊本地震で被災した市立図書館の増築部分

【議案第73号】戸別受信機は各家庭に1台ずつ配布

【議案第74号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第75号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第76号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第77号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第78号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第79号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第80号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第81号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第82号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第83号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第84号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第85号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第86号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第87号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第88号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第89号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第90号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第91号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第92号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第93号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第94号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

【議案第95号】北有馬町の住宅促進のための宅地販売

文教厚生委員長報告

(限部和久委員長)

議案6件を原案可決、認定2件を認定、
請願1件を継続審査

【議案第68号】 南島原市
立幼稚園保育料等徴収条
例の一部を改正する条例
について

質疑 保護者の負担は
これまで比べ、どうな
るのか。

答弁 本条例に照らし
合わせた場合は、3名が
負担軽減となる。

質疑 保育所と条件を
同様にする条例であるの
か。

答弁 その通りである。
保育園は規則で
対応し、今回の幼稚園に
関しては条例を改正とい
うことであるが、その違
いは。

質疑 私立の保育園、
認定こども園については、
総合的な条例を昨年制定
され、また保育料ついて
は、規則に委任された。

幼稚園については、従
来から条例であり、議会
の議決が必要であるため、

本議会で提案する形にな
った。

【議案第69号】 財産の取
得について（小学校電子
黒板等）

質疑 電子黒板と書画
カメラの整備は、来年度
で全ての小学校で完了す
るのか。

答弁 来年度1年生を
整備すれば、小学校は全
て完了である。

質疑 機種を指定して
いるのか。

答弁 機種指定せず、
指定したスペック同等以
上のものとしている。

質疑 電子黒板の数は
学級数の増減に対応でき
るのか。

答弁 今年度は学級数
で導入した。クラスが、
減った場合は余りを予備
という形で置く。

来年度1年生は全部導
入するが、学級数が増え

た場合はその都度対応す
る。

【議案第71号】 平成28年
度南島原市一般会計補正
予算（第4号）

【教育委員会関係分】

質疑 世界遺産登録関
連で登録名称が変わり、
それに伴い様々な変更が
あると思うが、今回、補
正予算が上がってないの
は何故か。

答弁 現在、関係部署
である企画振興課、秘書
広報課と検討をしている
ところである。マークに
ついても県で検討中であ
る。

質疑 6月20日の大雨
で崩壊した、日野江城の
仮設道路の修復はどのよ
うな形で行う予定か。

答弁 仮設道路に関し
ては、今後も整備のため
に必要な道路であるので、
文化庁に対し道路の延長
の許可を申し出している。
ただ、現在の崩落を修復
しなければ今後の整備に
支障をきたすので、今回
その測量をまず行う予定
である。

質疑 西有家小学校体

育館非構造部材耐震化改
修工事が国庫補助事業で
不採択となった理由は。

答弁 国の財源不足が
原因であるが、拠点校で
あるので工事は続けてい
きたい。

質疑 有家小学校新築
に関する計画の現状は。

答弁 実質的に3クラ
ス普通教室が不足するの
で、土地購入を予定し、
関係する地権者と売買の
意思確認をしている。

【市民生活部関係分】

質疑 清掃総務費のご
み収集事業費に関する予
算が当初で組まれていな
い理由は。

答弁 当初予算で組ん
でいたが、不足が出たた
め。

質疑 全体的な燃料費
はいくらか。

答弁 1年間で10万円
弱程度である。

【福祉保健部関連分】

質疑 介護用マッスル
スーツとシルエット見守
りセンサーの単価は。

答弁 マッスルスーツ
が税込み64万8千円、

シルエット見守りセンサ
ーが税込み30万8,88
0円である。

質疑 将来的には、こ
れを本市の福祉施設に広
げる考えか。

答弁 将来的な需要は
高まっていくと思うが、
財源の問題がある。

この補助金は今年度創
設された補助金であり、
また、今回、全国からの
応募が多く、国は補助額
を3分の1以下に圧縮し、
内示した経緯があるため、
継続できるかは今後の国
の動向を見守っていく必
要がある。

質疑 未熟児養育医療
給付費について、補助対
象の条件は。

答弁 出生時の体重が
2,000g以下の者で、
一般の状態として運動不
安痙攣がある者、または
運動が異常に少ない者、
体温が34℃以下の者、チ
アノーゼが持続する者、
消化器系で生後24時間以
上排便のない者等、生活
力が特に弱い者が該当す
る。

度南島原市国民健康保険
事業特別会計歳入歳出決
算の認定について

質疑 保険税全体の滞
納はいくらか。

答弁 平成27年度末で、
2億6,524万2千円。
現年分の収入未済額が6,
557万9千円、計約3
億3千万円である。

質疑 「針・きゅう・
按摩・マッサージ」につ
いて市政懇談会でも増額
をして欲しいという意見
があり、検討するという
回答であったが、来年度
はどのようにするのか。

答弁 平成30年度に向
け、国保統一化の話の中
で、この取り扱いも検討
中であり、まだ見解が出
ていない。現在各市で取
り扱いの差異があるので、
調整にも時間がかかると
思われる。

質疑 国保の加入世帯
及び被保険者数は。

答弁 平成27年度末で、
9,453世帯で被保険
者数は1万8,989名、
被保険者数の加入割合は、
39・32%である。



農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

承認1件を承認、議案1件を原案可決
認定3件を認定、請願1件を継続審査

【承認第6号】 専決処分
の承認を求めることにつ
いて(平成28年度南島原
市一般会計補正予算(第
3号))

建設部説明 6月18日か
ら7月5日までの梅雨前
線豪雨による公共施設土
木災害の早期復旧を図る
ための補正予算。

農林関係質疑

質疑 機械借上料は農



豪雨により崩れた畑

地分とあるが農道も入る
のか。また、オペレータ
ーも含むのか。
【答弁】 農道も含んでい
る。今回は機械のみであ
る。

【議案第71号】 平成28年
度南島原市一般会計補正
予算(第4号)

質疑 災害査定件数が
77件あるが全て該当する
のか。他の災害の対応は。

【答弁】 申請要件を基に
申請している。要件に該
当しない箇所については、
維持修繕、原材料支給や
単独災害起債事業等に対
応している。

質疑 予算がないと言
われたと市民の声がある
が、災害復旧費と修繕費
を当初予算でもう少し額
を増やしたら補正を組ま
なくても良いか。

【答弁】 大きな災害も頭
に入れて、財政とも十分



豪雨による土砂崩れ

質疑 災害が発生した
らいろんな災害復旧の要
望が来ると思うが、今執
行している事業の予算の
説明を。又、本補正予算
は10月6日最終日に可決
承認しなければ執行でき
ないが、その説明は。

【答弁】 今、執行してい
る事業費は、当初予算と
承認6号専決処分予算で
対応している。本補正予
算は補正をしてからしか
使えないのでそこは確か
に実行している。

質疑 8割補助事業は
上限200万円だが、仮
に300万円かかる事業

だったら、翌年100万
円申請できるのか。
【答弁】 可能である。

【認定第3号】 平成27年
度南島原市簡易水道事業
特別会計歳入歳出決算の
認定について

質疑 任意繰上償還を
しているが、統合事業で
新たな起債が発生する可
能性があり、結果的に起
債の残額が減らない。今、
水道会計そのものが成り
立たない状況だがどのよ
うにお考えか。

【答弁】 統合事業の整備
で起債等を借りている分
も含めて計算をしている
が、簡易水道が上水道に
なるので、今、資産台帳
の整備をしており、償却
費等を出してからその辺
の計画を練るよう考えて
いる。

質疑 企業会計に移行
したとき財源はどうする
のか、方法等について部
内で検討したのか。
【答弁】 料金の超過分を
10%~20%上げるのかど
うかですが、財源等につ
いての検討や方法につい
ては、現在実施中の資産

台帳整備後、料金の見直
し等を含め財政計画や整
備計画の検討を考えてい
る。

【認定第4号】 平成27年
度南島原市下水道事業特
別会計歳入歳出決算の認
定について

質疑 一般財源から4
億円余り繰り入れている
が一世帯あたりの下水道
使用料は合併浄化槽の維
持管理費の半分ぐらいで
ある。下水道料金が安い

のではないのか、一般財
源から入れられないようにす
るべきではないのか。
【答弁】 公共下水道料
金と合併浄化槽の維持管理
費の年間を比べた場合、
約半分との指摘は理解し
ている。平成30年度に経
営戦略等の計画、又今後
施設の老朽化も踏まえた
中で適正な公共下水道の
使用料を諮っていく。



三本松の水道タンク

福岡県上毛町議会が 南島原市を訪れました

平成28年7月27日に福岡県上毛町議会が委員長研修のため南島原市を訪れました。

研修メンバーは上毛町議会正副議長をはじめとした、各常任委員長3名、議会運営委員長、事務局職員2名でした。

研修事項は「雲仙普賢岳の災害を教訓とした街づくりについて」、「施設見学」でした。

研修ではまず、南島原市議会松永副議長の挨拶と上毛町議会安元議長の挨拶があり、その後、南島原市防災交通班が説明を行いました。

説明内容は噴火活動が



上毛町議会安元議長挨拶



上毛町議会委員長研修の様子

発生してから、終息、復興までの流れでしたが、上毛町議会の方々には特に噴火による被害、土石流の恐ろしさについて驚かされていきました。また、説明後は松永副議長も参加して盛んな質疑応答が行われました。

その後の施設見学では、観光振興班が「土石流被災家屋保存公園」、「みずなし本陣」、「旧大野木場小学校」を案内しました。

南島原市議会議場がリニューアルしました (議場放送・映像設備改修工事)

平成28年7月8日〜8月30日に議場放送・映像設備改修工事が行われ、第3回定例会では新しい議場設備のもとで行われました。

画質と音質が向上した議会中継

この度の改修で画質と音声が向上しています。本市議会は地上デジタル放送が開始された後もアナログ放送の規格で議場放送を続けておりましたが、カメラをフルハイビジョンに変更することにより、鮮明な議場の様子



カメラ操作席

を伝えることができるようになりました。また、音声も音割れがあるとの指摘があつておりましたが、マイクとスピーカの交換によりこれが抑えられました。

放送用カメラも2台から3台へと増加し、より自由度の高いものとなったことで、様々なアングルでの撮影ができるほか、画面の切り替わりもスムーズとなり、より良い放送ができるようになりました。

質問席で緊張感のある一般質問に

この度の改修では新しく質問席も設置されました。質問席とは一般質問の際に質問議員が利用する席です。これまでは一通りの質問をした後、議員は自席に戻り、再質問をしていましたが、これからは、一般質問の際は



質問席

常に質問席で質問を行うこととなります。議場の中心に位置し、より執行部との距離が近くなるため、緊張感のある質問、答弁が行われることが期待されます。



マイク



カメラ



スピーカ

平成28年 南島原市議会第3回定例会採決一覧

議員番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
議案番号	議決結果	田中次廣	金子憲太郎	小林知誠	柴田恭成	高木和恵	吉田幸一郎	隈部和久	林田久富	小嶋光明	黒岩英雄	井上末喜	中村久幸	下田利春	川田典秀	隈部政博	吉岡巖	山本芳文	草柳寛衛	桑原幸治	松永忠次	
承認第6号	承認	○	○	×	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第1号	認定	○	○	×	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第2号	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第3号	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第5号	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※○：賛成、×：反対、—：欠席、△：棄権

賛否口討論

「認定第1号」平成27年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について

採決が分かれた議案のうち主な意見を紹介します。

反対討論① 反対する理由は4点ある。

第1の理由は市の財政が改善されてきた中で福祉面の施策がまだまだ不十分だということである。高齢化率は年々上昇しており、住民税非課税世帯は南島原市全世帯の4割近くになり、市民の貧困化が深刻になっている。高齢化対策、子どもの貧困対策を充実させなければならぬ。

第2の理由は国民健康保険事業特別会計への応援が不十分であることである。国保税の重い負担に加入者は悲鳴を上げている。一般会計からの繰入は大いに評価するがもっと増額し国保税を引き下げるべきである。

第3の理由は学校統廃合が強引に進められていることである。学校が廃校になることは子どもの教育と地域住民にとって大問題である。

第4の理由は大型事業推進の立

場に立っていることである。長崎新幹線や三県架橋など不急の事業には反対するべきである。

反対討論② 市は様々な補助金を

出しているが調査も報告も十分に行っていない。特に、自治会活動補助金については必要以上に支給している疑いを私はもっている。

補助金は納税の成績によって支給し、申請時は自治会の補助金の利用計画を審査した上で給付しているとのことだが、実際にこの計画で補助金が利用されているかどうかは疑わしいと考えている。

賛成討論

平成27年度南島原市一般会計歳入歳出決算の実質収支は19億7,151万9千円の黒字であり、国費の削減、地方交付税の減額がある中、市税をはじめとする自主財源の確保、また歳出については行財政改革を推進していることから賛成である。

平成28年 第3回定例会 議決結果報告

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
報告第13号	平成27年度南島原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	平成28年9月14日	受 理
報告第14号	株式会社原城振興公社の経営状況に関する書類の提出について	平成28年9月14日	受 理
議案第73号	公有水面埋立免許出願に係る意見について	平成28年9月14日	原案可決
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度南島原市一般会計補正予算(第3号))	平成28年10月6日	承 認
議案第63号	南島原市プロポーザル審査委員会条例の制定について	平成28年10月6日	原案可決
議案第64号	南島原市議会議員及び南島原市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年10月6日	原案可決
議案第65号	南島原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年10月6日	原案可決
議案第66号	南島原市税条例の一部を改正する条例について	平成28年10月6日	原案可決
議案第67号	南島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	平成28年10月6日	原案可決
議案第68号	南島原市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について	平成28年10月6日	原案可決
議案第69号	財産の取得について(小学校電子黒板等)	平成28年10月6日	原案可決
議案第70号	長崎県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約について	平成28年10月6日	原案可決
議案第71号	平成28年度南島原市一般会計補正予算(第4号)	平成28年10月6日	原案可決
議案第72号	平成28年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	平成28年10月6日	原案可決
認定第1号	平成27年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について	平成28年10月6日	認 定
認定第2号	平成27年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年10月6日	認 定
認定第3号	平成27年度南島原市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年10月6日	認 定
認定第4号	平成27年度南島原市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年10月6日	認 定
認定第5号	平成27年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年10月6日	認 定
認定第6号	平成27年度南島原市水道事業会計決算の認定について	平成28年10月6日	認 定
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成28年10月6日	答 申 (適任)
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成28年10月6日	答 申 (適任)
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成28年10月6日	答 申 (適任)
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成28年10月6日	答 申 (適任)
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成28年10月6日	答 申 (適任)
	閉会中における各委員会の継続審査・調査申し出について	平成28年10月6日	決 定

人事案件

人権擁護委員の推薦

(平成29年1月1日)
平成31年12月31日



古川さわ子氏
(深江町)



吉田アツ子氏
(布津町)



山崎幸成氏
(布津町)



林田梨恵氏
(加津佐町)



川上玲子氏
(西有家町)

そこが知りたい

市議会 Q & A

Q 政務活動費とは

A 地方議会議員の活動は、公務として認められている議会活動と政務活動等があります。

政務活動費とは、議会活動を行うために必要とされる、議員の日常の調査活動、住民に対する説明、意見聴取などの活動に要する経費です。

Q 議員の発言を取り消す方法は

A 議場での発言で、審議に無関係なものや、他人の私生活に関するものなどについては、発言を取り消すことが出来ます。

発言の取消しの方法として、取消しの対象となった発言を行った議員本人からの発言取消しの申し出によるものと、議長の発言取消命令によるものがあります。

編集後記

南島原市が誕生して11年、議会だよりも通算42号を迎えます。

市民皆様の視点から、議会だよりに進歩は見られたでしょうか。また、どのように感じておられるでしょうか。

内容については、各議員の一般質問を中心に、議会ではどのような議論がなされ決定されているのか。

皆様の生活に直結する市政が、少しでも身近に感じていただけるよう委員一同、編集作業に取り組んで参りました。

これからも、分かりやすく、読みやすく、親しまれる議会だより作りに取り組んで参ります。

皆様からも、お気づきの点やご意見などありましたらよろしくお願ひ致します。

中村 久幸

議会を傍聴しましょう!!

**次回の定例会は
12月5日開会
の予定です。**

南島原市議会は市民の皆様のお越しをお待ちしています。

●詳しくは議会事務局へお尋ねください。
電話 **050・3381・5085**



- | | | | | | | |
|----|----|----|-----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 松永 | 下田 | 隈部 | 吉田 | 田中 | 中村 | 金子 |
| 忠次 | 利春 | 和久 | 幸一郎 | 次廣 | 久幸 | 憲太郎 |

【発行責任者】

議長 中村 一三



この南島原市議会だよりは環境にやさしい「再生紙」と「植物性大豆油インキ」を使用しています。

※議会だよりに、ご意見、ご感想がありましたら、議会事務局「議会だより」係までお願いします。
〒859-2202 南島原市有家町山川58番地 ☎050-3381-5085
メールアドレス:gikai@city.minamishimabara.lg.jp